

謹賀新年

平成29年新年のごあいさつ

知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら

新年あけましておめでとう
ございます。

皆様には健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
昨年、雇用情勢も改善され経済に明るさが見え、引き続き本年も景気の更なる改善を期待するところであります。

本市におきましては、大田原小学校・紫塚小学校の校舎改築が完了し、本年一月から供用開始いたします。加えて、引き続き既存校舎の大規模改修工事を実施し本年度中の完成予定となっております。教員環境が大きく改善されることとなります。また、市役所本庁舎は、本年七月までに実施設計を終了し、八月には工事着手の予定となっております。平成三十年十一月新庁舎完成した後は、東日本大震災以降、長らく市民の皆様にご不便を掛けたりました行政サービスも大幅に改善され、向上するものと考えております。

行政課題は常にありますが、私は、今後も引き続き一番に市民の皆様のお安全を守り安心な社会を作ることを基本として参ります。子ども達が夢を持ち実現できる社会環境を地域住民の皆様と共に創り、就労と所得の確保ができる産業の誘致と育成を市民の皆

様と一緒に実現し、そして、それぞれがそれぞれの得意な分野で活躍できる社会を若者男女力を合せて創って参りましょう。

ところで、現代社会は不自然なことが多いのではないのでしょうか。この原因の多くは、人間が自らつくってきた感があると考えております。多様な人生観を否定するわけではありませんが、未婚のままの一生などは最終のもののような気がしてなりません。人生に出会いがありながら、踏み出すことができないのか、しないのか、刹那の喜びに引かれ一生を過してしまふのは、実にもったいないと考えます。

『未婚の人々よ、意を決して出会いを求め、結婚し、子どもを産み育ててみないか!』

結婚し家庭を持つことの苦しみもあると思いますが、それを上回る喜びがある家庭生活を送る人生にチャレンジして欲しいと思います。これは親として偽らざる願いでもあります。

また、『人生長く生きて、何が喜びか。』を思うとき、長寿社会では生きがいを持ち、自然とやってくる老いと向き合い、自らの力で人々に喜ばれる「利他」のため

の社会奉仕が大切だと考えます。培ってきた能力を活かし、困っている人々や社会に貢献し、笑顔あふれる幸せ感の高い社会を実現するリーダーになつていただきたいと願っています。それが、本人にとっても喜びのある幸せな人生だと考えます。

大田原市では、今後大きなインフラ整備は少なくなり、人材育成の為の人材が必要になると考えています。全ては人材により決まります。リーダーとなる人材の良し悪しで、組織や地域社会の良し悪しが変わつて参ります。市民憲章にあるように、「自

然を愛し」、「文化を高め」、「心身をきたえ」、「としよりをうやまい」、「きまりを守り」、住みよいまちをつくって参りましょう。

結びに、皆様にとりまして本年も幸多い良い年でありますようご祈念し新年のご挨拶いたします。

大田原市長

津久井富雄

